

国会議員 支持割れる

民主代表選 本紙調べ

各陣営、終盤戦略練る

読売新聞社が民主党代表選（18日投票）に向けて実施した党所属国会議員132人の動向調査で、細野豪志元幹事長、岡田克也代表代行、長妻昭元厚生労働相の3氏とも過半数に届いておらず、支持が分散傾向にあることが明らかになった。各陣営は、1回目の投票で過半数に届く候補がない場合の上位2人による決選投票も想定し、終盤戦の戦略を練る構えだ。（本文記事一面）



国会議員票は3候補が競り合う展開だ



- 主な支持者
- 松本剛明 元外相
 - 野田佳彦 前首相 (野田G)
 - 赤松広隆 前衆院副議長 (赤松G)
 - 長島昭久 元防衛副大臣 (長島G)
 - 玄葉光一郎 前外相 (玄葉G)
 - 大島章宏 前幹事長 (大島G)
 - 羽田雄一郎 参院幹事長
 - 直嶋正行 元経済産業相 (旧民社党系G)
 - 前田武志 元国土交通相 (大島G)
- G=グループ

■細野陣営
動向調査では、細野氏は自らのグループ（14人）のほか、長島昭久元防衛副大臣グループ（7人）の支持を固め、前原誠司元代表グループ（約20人）の一部からも支援を受ける。松本剛

明元外相や羽田雄一郎参院幹事長らも支持している。最も若い候補である細野氏は世代交代による党の刷新を訴える。10日に大阪市内で党が主催した候補者集会では「過去と明確に決別し、新しい出発を切らない限り、民主党の考え方は実現できない」と強調した。衆院当選2〜6回の中堅・若手議員らの多くは細野氏に流れた。

■岡田陣営

岡田氏は、民主党政権時代に中枢を担った「6人衆」の野田佳彦前首相、玄葉光一郎前外相、安住淳元財務相、枝野幸男幹事長の支持を得た。野田、玄葉両グループ（いずれも約10人）の大半をまとめたほか、前原グループや旧民社党系グループ（約15人）からも半数近い支持を得ている。3候補の中で唯一、代表経験のある岡田氏は、政権

時代に外相や副総理を務めた実績をアピールする。岡田氏は10日の候補者集会では「野党第一党のリーダーは国会で堂々と渡り合わなければならない。私は自信がある」と述べた。

■長妻陣営

長妻氏は、赤松広隆前衆院副議長ら旧社会党系グループ（約15人）、大島章宏前幹事長グループ（約15人）を中心に支持を集めた。参

「1回目でも過半数に」／接近を検討

細野、岡田両氏による決選投票になった場合、議員・サポーターらは投票できないため、1回目の投票で長妻氏を支持した議員が、どちらかに投票するかが勝負を左右しそうだ。岡田氏よりも保守色が強い細野氏と、リベラルを掲げる長妻氏とでは政策面で距離があり、支持議員の考え方で、細野氏は維新の党最高顧問の橋下徹大阪市長が進める「大阪都構想」についても、「プロセスも中身も両方が問題だ」と批判した。岡田氏も「手続きが相当乱暴だ」と疑問を投げかけた。都構想を巡っては、地元の民主党支持者や地方議員が反対していることから、地方票を意識した発言とみられる。

細野氏、岡田氏に反撃

衆院選の候補者調整「反省を」

民主党代表選に立候補した岡田克也代表代行、細野豪志元幹事長の舌戦が過熱している。

「なぜ大阪市内（の小選挙区）で一人も候補者を出せなかったのか。国民に選

択肢を示せなかったことは批判した。

真剣に反省した方がいい」

細野氏は10日、長妻昭元厚生労働相も含めた3候補がそろった読売テレビの番組で、昨年の衆院選の候補者調整について、選挙責任者を務めた岡田氏を痛烈に批判した。

これに対して、網膜剝離の手術後に着けていた眼帯を外して出演した岡田氏は「（候補者が）バッテリーが目立っているが、この日は細野氏から逆襲に出た。一方、大阪市内で開かれた議員・サポーター向けの

集会で、細野氏は維新の党最高顧問の橋下徹大阪市長が進める「大阪都構想」についても、「プロセスも中身も両方が問題だ」と批判した。岡田氏も「手続きが相当乱暴だ」と疑問を投げかけた。都構想を巡っては、地元の民主党支持者や地方議員が反対していることから、地方票を意識した発言とみられる。

「候補者集会の討論などで、長妻氏と政策面で同調できる部分を強調していくべきだ」との声も出ている。